

# ともしび通信

## God's gift



### 特別伝道集会 10月26日(日)

「希望は失望に終わることがない」

聖書「ローマ人への手紙」(5章5節)

- ①教会学校特別集会 AM9:00～10:00 ジョイジョイサンデー
- ②伝道第Ⅰ礼拝 AM10:30～11:50
- ③伝道第Ⅱ礼拝 PM2:00～3:30

#### 小川勇哉(おがわ いざや) 師



千里ニュータウンバプテスト教会スタッフ/中高生/音楽 担当  
 1973年大阪生まれ。幼少の時にイエスキリストを信じ、バプテストを受ける。  
 1995年、米国・テネシーテンブル大学の聖書神学科(TH.G)を卒業後、1998年、  
 同大学の聖書宣教学科(B.S.)を卒業。現在、千里ニュータウンバプテスト教会の伝  
 道師として働きをされ、音楽、中高生を主に担当している。家族は妻 優子(関西  
 単立バプテスト神学校卒)、子 一男(年長)、二女(双子・小学5年)。

当教会は今年で設立33年になりました。特別伝道集会に、千里ニュータウン  
 バプテスト教会から小川勇哉(いざや)先生が来会され3回の集会でメッセー  
 ジをしていただきます。皆さまの来会をお待ち申し上げます。(松本牧師)

町田バプテスト教会  
 町田市つくしの2-31-4 【TEL】042-796-3822

## 集会のご案内

教会の詳細はホームページでもご紹介しています。  
<http://goodnews194.com>

### 日曜礼拝

多忙な日々の中で、うつむき加減  
 になっている顔と心。天を仰いで  
 生きる元気を取り戻して下さい。



毎日曜  
 I AM10:30～12:00  
 II PM 4:00～5:00

### 教会学校

幼児から大人まで、クラスに分か  
 れて聖書を学んでいます。どの世  
 代にあっても聖書の学びは生涯の  
 道しるべとなります。



毎日曜 9:00～10:00

### 水曜礼拝・祈り会

週の半ばの夜、静かに神を礼拝し、  
 メッセージに耳を傾けます。講解  
 説教で順番に学んでいるので聖書  
 を知りたい方に最適です。



毎水曜 19:30～21:00

### 壮年会

壮年会では聖書の学びと、賛美集  
 会や教会カフェ、日帰り温泉など  
 サークル的な活動もあります。

毎月第2日曜  
 13:30～15:00



### 婦人会

日曜午後の集いは個々に抱えてい  
 る課題を話しあい、喜びも困難も  
 分かち合う、穏やかなひと時です。

毎月第2日曜  
 13:30～15:00



### 青年会

大学生から社会人まで、月1回、  
 ともに集まり賛美をし、語り、励  
 まし合い、祈りあう集いの時です。

毎月第2日曜  
 13:30～15:00



### 子育てサークルハンナの会

ハンナの会は子育てに疲れたり、  
 悩んでいるお母様に元気を与える  
 会。おさまはお預かりします。

毎月第3火曜  
 10:30～13:00  
 昼食付



### トールペイントサークル

賛美とメッセージのひとつ。花  
 を描きながら心を解放するひとと  
 き。お茶を飲み、語らうひととき。  
 毎月第1水・金 10:00～12:30



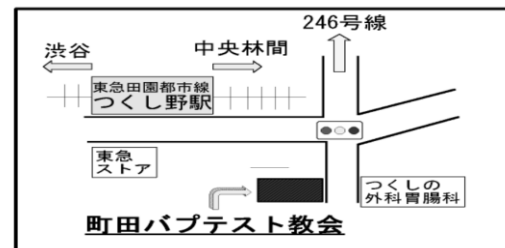
### 木曜婦人集会

家事、育児、仕事に忙しい女性た  
 ちがありのままの自分でいられる  
 場所。希望と勇気が与えられる時。  
 毎週木曜 10:30～12:00



特別伝道集会のお知らせ号です。1年前、千里ニュータウンバプテ  
 スト教会から講師の小川英理也(えりや)師に来ていただきました。今  
 回の先生とお名前が似ていると思われましたか。そうです、お兄様で  
 す。2年続けての方も、今回初めての方も、心からお待ちしています。

- 集会は参加自由です。お気軽に、お越しください。
- 質問や相談ごとはどんなことでもお尋ねください。
- 送迎の必要な方は、ご遠慮なくお申し出ください。
- 町田市つくし野 2-31-4
- TEL&FAX 042-796-3822



### 編集後記

「ともしび通信 77号」をお届けします。  
 町田バプテスト教会では10月26日(日)  
 に特別伝道集会を開催。千里ニュータウンバ  
 プテスト教会伝道師(大阪府箕面市)の小川  
 勇哉(いざや)先生が来会されます。「教会  
 学校」「Ⅰ礼拝」「Ⅱ礼拝」の3回にわたりメ  
 ヂッセージをしていただきます。どうぞ、ご都  
 合のつく時間に気軽にお越しください。

## 単立 町田バプテスト教会

町田市つくしの2-31-4 ●<http://goodnews194.com>  
 042-796-3822 ●[mail:machida@church.email.ne.jp](mailto:machida@church.email.ne.jp)

人生に希望は大切ですが、残念ながら失望に終わる希望が多くあります。

子どもの頃、夢多き少年でした。18歳で栃木から進学のために上京しましたが、少年の頃の夢は次々に破れ失望と虚しい日々を過ごしました。

そんな時、興味本位で入った教会で、「主神はその愛する者を懲らしめ、受け入れるすべての子にむちを加えられるからである。訓練と忍耐を耐え忍びなさい。ヘブル書12章6〜7節」と言う聖書のことばを聞きまし

た。その時、夢を実現するために、努力や訓練を通して「希望を実現させる実力」を身につけなければならぬと思いました。

そして神を信じ、失敗や挫折をする度に、「自分はまだ実力が足りない」と自分の心に言い聞かせながら、この失敗や挫折を通して、神様は自分を愛するゆえに訓練しておられると信じて、どんな時も諦めないで、自分のできる限りの努力や訓練をしようと決めました。

それから50年近く経ちました。少年時代の希望がすべて実現した訳ではありませんが、喜びと感謝の日々を体験しています。

「特別伝道集会」を機会に教会にお出かけくださり、すべての方々が信仰によって神様からの「希望を実現させる実力」を身につけられることを願っています。



今年の7月は記録的な暑さが連日続いたせいか、胃腸の弱い私はすっかり食欲を無くしてしまいました。これはまずいと、かかりつけのクリニックに行き、胃腸薬を出してもらいました。医師は「これは痛め止めですから、痛い時飲んで下さい」と言われました。

しかし、毎日痛いのので、毎食後、飲むようになりました。しかし結果は、胃腸薬を飲んでも、痛みが続くようになりまし

た。そうなる、食事の度にまた痛くなったらいと、出来るだけ食べる量を少なくするようにになりました。その結果、気力や体力が落ち、仕事

がなかなか進まなくなり、精神的にも追いつめられてしまいました。

家内は心配して食事毎に消化が良く栄養価が高い物を工夫して用意してくれましたが、すまないなあと思いながらも、ますます食欲を失ってしまいました。



本当に食べるということとは、生きることだと思

います。主の祈りの中に「私たちの日ごとの糧をきょうもお与えください。マタイの福音書6章11節」と言うことばが

あります。今まではあまり深く考えませんでした。単に食べ物を与えられる

だけではなく、それを消化し、生きる力とし、明日を生きる希望も含まれているように思います。

一日も早く回復し、明日への希望として、今日の食事を大切にしたいと願っています。

私的映画批評  
「あの夏、いちばん静かな海」  
1991年日本作品  
松本勇哉

聴覚障害者で、清掃の仕事をしている茂。ある日、茂はゴミ収集所に捨てられていた壊れたサーフボードを拾う。茂は、ボードを自分で修理し、恋人の貴子と海に行き、サーフィンを始める。失敗の連続で、周りのサーファーから笑われていた茂だったが、必死に波に乗り続けるうち、大会で賞をとるまでに上達する。そして、「あの夏」の終わりがくる。この映画は、セリフが少なく、映像と音楽で魅せる映画だ。だが、それ以上に、役回りの関係性を現す説明シーンも極端に少ない。



それでも、恋人同士の間密さや、主人公を囲む脇役の気持ちが見ているだけでよくわかる。まるで、「見てりゃわかるだろ、想像しろよ。」と監督に言われているようだ。そんな想像をしているうちに、この映画に引き込まれてしまう。

教会では聖書を読む(当たり前か?)が、聖書はこの映画と一緒に、説明が少なく、私には、もうちょっと、詳しく書いてくれればいいのに、と思った。これは今まで何回もあった。でも、この映画と同じで、忙しくしてないで、腰を落着けて、自分のこととして、想像しながら読め、ってことなのかもしれない。そんなことを考えた。

婦人会リレーアナタに出会えて嬉しい



子育ての祝福 宮本愛子

娘は今までの人生で最高の喜びを与えてくれました。産後、娘を抱いたあの時の嬉しさを思うといつも変わらぬ感謝でいっぱいです。幸せな気持ちになれます。

また、娘を育てることで、自分が両親からいかに愛されていたかを知ることができました。

親の愛を十分に感じる事ができずに「私はいてもいなくても変わらない」と思っていた私でしたが、愛するが故の厳しさを理解することができました。

そして、子育ての中で自分ではどうすることも出来ず、思うようにならないことに腹を立てたり逃げたくなったりする時、自分がいかに自分勝手に罪深いものであるかを知ることができました。

それまでは様々な困難にも祈りつつ努力を重ねて克服してきたと思っていたのですが、それは自分が頑張ることで得た解決ではなく、主から与えられた解決であることに気がきました。子育てにより自分の罪・弱さを知ること

で、イエス様の十字架によって赦されている幸いと、創造主である全知全能の神様に祈り頼むことができる恵みを心から感謝する気持ちが増し加えられました。

シリーズ 私のお気に入り



My favorite じゃじゃ馬馴らし 増田進弘

それはシトロエン2CVフランスの車で基本設計は60年位前。方向指示器は手動、ハンドルも重い、音もうるさい。

私のもとにきた当初は、雨漏りが酷く、おまけに道路の真ん中で突然ストップ。あれこれ自動でやってくれる現代の車に慣れてしまった私は大変なモノを手に入ってしまったと内心思ったのだ。



しかし、考え方を転換。便利さに慣れ心も身体もいつの間にか楽を求めてしまう自分のリハビリのための2CVだと気づかされた。それ以後、五感を働かせ小さな音や匂いなどの変化にも気を配りながら走行。気になるところがあれば手入れ。これも仕事とは違う脳を使うことになり、知らないうちにリフレッシュされている。こんなことを通してお気に入りというものは、実は使い手が気にかかって仕方がないものであり、より深く知りたくなるものでもあり、手を掛けられる余地のあるものだということ。

どこか恋愛とも似ている。そんなことを考えていたら、聖書にある「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。」という聖句を思い出した。